

① 申告日
申告する日にちを記入します。

② あて先
り災場所を管轄する消防署長あて（鳥取、湖山、岩美、八頭、気高のいずれか）とします。

③ 申告者
申告する方の住所、職業、電話番号、氏名を記入します。

④ 火災発生日
申告したときに消防職員の説明により記入してください。

⑤ り災場所
申告したときに消防職員の説明により記入してください。

⑥ り災物件と申告者との関係
該当するものを○で囲みます。「その他」とのときは、（ ）内に詳細を記入します。

⑦ り災世帯者名
り災した世帯を構成する人員（同居人含む）について、氏名、続柄、年齢、性別、職業を記入します。

⑧ 不動産
【建物物件欄】
建物の用途、構造、階数、建築面積、延べ面積、建築又は購入時価格、建築又は購入年月を記入します。
【火災保険加入状況】
被保険物件（建物、家財、その他）に対して、契約している保険会社名とその契約金額を記入します。

様式第9号

<h2 style="margin: 0;">火 災 損 害 申 告 書</h2> <p style="text-align: right; margin: 0;">① 令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p style="margin: 0;">② 鳥取県東部広域行政管理組合</p> <p style="margin: 0;">〇〇消防署長 様</p> <p style="margin: 0;">住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番地</p> <p style="margin: 0;">③ 申告者 職業 〇〇〇 電話 (〇〇〇) 〇〇〇〇-〇〇〇〇</p> <p style="margin: 0;">氏名 消防 太郎</p>											
④ 火災発生日			年 月 日 時 分 ごろ								
⑤ り災場所											
⑥ り災物件と申告者との関係			<input checked="" type="radio"/> 所有者 ・ <input type="radio"/> 管理者 ・ <input type="radio"/> 占有者 ・ <input type="radio"/> その他（ ）								
⑦ り災世帯者名	氏 名	続柄	年齢	性別	職業	氏 名	続柄	年齢	性別	職業	
	消防 太郎	本人	40	男	〇〇〇						
	消防 花子	妻	35	女	〇〇〇						
火災損害の内訳は、次のとおりです。											
⑧ 不 動 産											
建物物件	用 途	構 造	階 数		建 築 面 積						
	専用住宅、店舗 など	木造、S造 など	地上〇階建て		〇〇〇 m ²						
	延べ面積		建築又は購入時価格				建築又は購入年月				
	〇〇〇 m ²		〇〇〇〇 円				〇〇年〇〇月				
火災保険加入状況	被保険物件	契約会社名				契約金額					
	建 物	〇〇〇〇保険会社				〇〇〇〇 円					
	家 財	〇〇〇〇保険会社				〇〇〇〇 円					
	その他	〇〇〇〇保険会社				〇〇〇〇 円					

⑨ 動 産							
車両・構造物及び器具備品・機械装置の主要なもの	品 名	損害区分	数 量	単価(円)	価格(円)	購入年月	備 考
	〇〇〇〇	焼・消・爆	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇年〇月	
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
商品・衣類・寝具・身廻品・書画・骨とう等	品 名	損害区分	数 量	時価・単価(円)	価格(円)	購入年月	備 考
	〇〇〇〇	焼・消・爆	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇年〇月	
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					
		焼・消・爆					

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A3とすること。
 2 損害区分の欄は、該当するものを○で囲んでください。（焼-焼き損害、消-消火損害、爆-爆発損害）
 3 商品は、卸売業は卸売価格、小売業は小売価格、製品、半製品は工賃を加えた原価、その他は、り災した物と同程度の古物の時価による。
 4 立木等は、商品類欄に記入してください。なお、動産損害品名等を記入する用紙が不足した場合は、別紙に記入してください。

⑨ 動産
【車両・構造物及び器具備品・機械装置の主要なもの】
品名、損害区分、数量、単価（円）、価格（円）、購入年月を記入します。

損害区分の欄は、該当するものを○で囲んでください。（焼-火災による損害、消-消火による損害、爆-爆発による損害）

価格（円）の欄は、合計価格を記入します。（例）単価2千円のものが2個あるとき 2,000×2=4,000で、価格は4千円

【商品・衣類・寝具・身廻品・書画・骨とう等】
品名、損害区分、数量、単価（円）、価格（円）、購入年月を記入します。

損害区分の欄は、該当するものを○で囲んでください。（焼-火災による損害、消-消火による損害、爆-爆発による損害）

価格（円）の欄は、合計価格を記入します。（例）時価・単価2千円のものが2個あるとき 2,000×2=4,000で、価格は4千円

※商品は、卸売業は卸売価格、小売業は小売価格、製品、半製品は工賃を加えた原価、その他は、り災した物と同程度の古物の時価によります。
 ※立木等は、商品類欄に記入してください。なお、動産損害品名等を記入する用紙が不足した場合は、別紙に記入してください。